

四国厚生支局 殿

徳島大学長 香 川 1

徳島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	62人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	229人	202人	391.4人	看 護 補 助 者	25人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	91人	63人	129.8人	理 学 療 法 士	11人	臨 床 検 査 技 師	54人
薬 剤 師	41人	0人	41.0人	作 業 療 法 士	7人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	4人	随 そ の 他	0人
助 産 師	36人	0人	36人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	592人	53人	638.73人	臨 床 工 学 技 士	12人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	6人
准 看 護 師	1人	3人	3.77人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	50人
歯 科 衛 生 士	9人	7人	14.64人	歯 科 技 工 士	7人	事 務 職 員	123人
管 理 栄 養 士	8人	4人	11.09人	診 療 放 射 線 技 師	39人	そ の 他 の 職 員	3人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	541.2人	17.7人	558.9人
1日当たり平均外来患者数	1,291.0人	441.9人	1,732.9人
1日当たり平均調剤数	入院 443.6剤	外来 259.3剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	5人
CTガイド下気管支鏡検査	35人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	74人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	12人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療	0人
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びS-1内服併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

該当ありません。

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	51人	・膿疱性乾癬	12人
・多発性硬化症	73人	・広範脊柱管狭窄症	17人
・重症筋無力症	86人	・原発性胆汁性肝硬変	27人
・全身性エリテマトーデス	188人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	9人	・特発性大腿骨頭壊死症	3人
・再生不良性貧血	23人	・混合性結合組織病	32人
・サルコイドーシス	85人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	40人	・特発性間質性肺炎	26人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	117人	・網膜色素変性症	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	38人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	38人	・肺動脈性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	113人	・神経線維腫症	23人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	11人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	25人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	83人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	54人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺, 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	177人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	17人
・後縦靭帯骨化症	107人	・肥大型心筋症	9人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	5人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	4人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	41人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症, オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	40人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症, ゴナドトロピン分泌異常症, ADH分泌異常症, 下垂体性TSH分泌異常症, クッシング病, 先端巨大症, 下垂体機能低下症)	48人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・子宮頸部前癌病変HPV-DNA診断	・
・乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・膀胱水圧拡張術	・
・インプラント義歯	・
・CTガイド下気管支鏡検査	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

#### 6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	29回
部 検 の 状 況	部検症例数 50 例 / 部検率 19.60%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
S1Pを標的とした肺線維症の病態解析と新規治療法への展開	東 桃代	呼吸器・膠原病内科	2,210,000	補委 文部科学省
ラット膵・胆管合流異常モデルを用いた胆道癌の発癌機構に関する研究	山田 眞一郎	消化器・移植外科	2,340,000	補委 文部科学省
軟骨無形成症における小胞体ストレスの関与の解明	佐藤 亮祐	整形外科	1,560,000	補委 文部科学省
カテキンの抗炎症・抗菌作用を応用した新規歯髄保護療法の開発	平尾 功治	第一保存科	2,860,000	補委 文部科学省
テーラーメイド型生体材料の骨形成促進機能付与	内藤 禎人	第一補綴科	2,080,000	補委 文部科学省
食育支援のための顎機能評価法の考案	石川 輝明	高次歯科診療部	1,430,000	補委 文部科学省
睡眠時6自由度顎運動測定システムを用いたブラキシズムの動態の解明	野口 直人	第二補綴科	1,560,000	補委 文部科学省
Docetaxel耐性口腔扁平上皮癌の樹立と耐性化機構の解析	高丸 菜都美	口腔外科	2,860,000	補委 文部科学省
慢性遺伝性筋疾患に対する新規RNAi医薬の開発	木内 奈央	矯正歯科	3,120,000	補委 文部科学省
ジストニアの病理に関する包括的研究	後藤 恵	脳神経外科	2,080,000	補委 文部科学省
ICTを活用した身体計測データの可視化と行動変容による健康管理の仕組み	森川 富昭	病院情報センター	3,380,000	補委 文部科学省
ヘパリンコファクターIIを用いた心筋梗塞後心臓リモデリングに対する新規治療法の開発	岩瀬 俊	循環器内科	2,210,000	補委 文部科学省
尿中アンジオテンシノーゲン測定による小児慢性腎炎の新たなバイオマーカーの開発	漆原 真樹	小児科	2,600,000	補委 文部科学省
調節性T細胞制御による放射線療法後遠隔転移の抑制法に関する研究	東島 潤	地域外科診療部	2,860,000	補委 文部科学省
食道表在癌に対するセンチネルリンパ節ナビゲーションシステムの構築	川上 行奎	地域外科診療部	3,120,000	補委 文部科学省
肺高血圧症におけるARNT-HIF1系を介する低酸素応答機構の解明	菅野 幹雄	心臓血管外科	2,210,000	補委 文部科学省
骨髄単核球細胞移植による肺高血圧症治療の際の移植細胞の果たす役割	中山 泰介	心臓血管外科	2,340,000	補委 文部科学省
iPS細胞を応用した脳腫瘍モデルに対するREIC遺伝子導入による新規治療法開発	影治 照喜	地域脳神経外科診療部	2,470,000	補委 文部科学省

慢性障害脊髄に対する薬物治療の検討－血液脊髄関門の通過性に注目して	加藤 真介	リハビリテーション部	3,770,000	補委	文部科学省
再生医療における血管新生は周術期管理法に影響されるのか？－高血糖の影響－	川人 伸次	麻酔科	4,030,000	補委	文部科学省
前虚血操作の虚血再灌流障害に対する腎保護作用とremote作用の検討	井崎 博文	泌尿器科	2,210,000	補委	文部科学省
慢性期の口腔ケアの効果は、どうして遅延するのか	柏原 稔也	第一補綴科	2,340,000	補委	文部科学省
結合組織マトリックスタンパクの質量解析の確立	佐藤 紀	リハビリテーション部	1,690,000	補委	文部科学省
S. Mutans 定着時期に低濃度フッ化物応用をした際の感染の成立と予防効果	尼寺 理恵	高次歯科診療部	520,000	補委	文部科学省
悪性胸膜中皮腫の浸潤に注目した治療標的分子の網羅的探索研究	柿内 聡司	呼吸器・膠原病内科	1,820,000	補委	文部科学省
脂肪由来幹細胞を用いた新たな臍島再生法の開発	森 大樹	消化器・移植外科	1,820,000	補委	文部科学省
肺癌術前患者に対する細径気管支鏡下水溶性造影剤注入によるCTリンパ管造影法の開発	滝沢 宏光	呼吸器外科	1,560,000	補委	文部科学省
脳動脈瘤形成時におけるTGF- $\beta$ の役割の解明と、新しい脳動脈瘤治療法の開発	兼松 康久	脳神経外科	1,690,000	補委	文部科学省
花粉症に対する初期療法分子メカニズムの解明	北村 嘉章	耳鼻咽喉科	1,170,000	補委	文部科学省
歯周組織におけるKeap1-Nrf2システムを中心としたレドックス制御の解明	板東 美香	第二保存科	1,690,000	補委	文部科学省
非侵襲的陽圧換気療法中の加湿と口腔内乾燥度の検討	大藤 純	救急集中治療部	520,000	補委	文部科学省
新規ポドサイト膜糖蛋白Tpbgの機能解析および新規腎炎治療の探索	松浦 元一	検査部	780,000	補委	文部科学省
血管新生阻害によって惹起される放射線感受性増強のメカニズムに関する研究	西岡 将規	周産母子センター	910,000	補委	文部科学省
肘離断性骨軟骨炎は小頭栄養血管の血流障害により生じるのか？	松浦 哲也	整形外科	780,000	補委	文部科学省
ホルモン不応性前立腺癌におけるガラクトース結合レクチンの腫瘍制御機構の解明	福森 知治	がん診療連携センター	910,000	補委	文部科学省
放射線療法を受けた顎骨組織のインプラント補綴による力学的反応	友竹 偉則	第一補綴科	1,040,000	補委	文部科学省
抗アポトーシス蛋白とNF- $\kappa$ Bを分子標的とした口腔癌の新規治療法の開発	玉谷 哲也	口腔外科	1,040,000	補委	文部科学省
歯科治療によるストレス侵襲に対する精神鎮静法の心血管系保護作用	江口 覚	歯科麻酔科	780,000	補委	文部科学省



日本人歯周病患者を対象とした抗菌ペプチド遺伝子の多型解析と疾患感受性の検討	稲垣 裕司	第二保存科	1,040,000	補委	文部科学省
慢性心不全における下肢陽圧負荷心エコー法の臨床的有用性の確立	山田 博胤	循環器内科	650,000	補委	文部科学省
肺高血圧症におけるカリウムチャネル制御の解明と治療応用	早瀬 康信	小児科	910,000	補委	文部科学省
人工股関節術後に生じる骨盤側骨萎縮に対するCTを用いた研究	江川 洋史	整形外科	650,000	補委	文部科学省
バクテリアトランスロケーション下のタイトジャンクション傷害と治療への展開	栗田 信浩	地域外科診療部	1,430,000	補委	文部科学省
脂肪組織由来幹細胞による肝再生調節機構の解明に関する研究	森根 裕二	消化器・移植外科	1,040,000	補委	文部科学省
抗菌成分添加フッ化ジアミンシリケートを利用した齲蝕予防剤の開発	菅 俊行	第一保存科	1,170,000	補委	文部科学省
医科歯科連携のための顎関節症外来受診患者調査	竹内 久裕	第二補綴科	1,300,000	補委	文部科学省
骨置換性炭酸アパタイトの既成スパーザーを用いた骨移植を必要としないサイナスリフト	藤澤 健司	口腔外科	910,000	補委	文部科学省
リン酸カルシウム置換型機能性ベクトルマテリアルに対する細胞応答の検討	堀内 伸也	矯正歯科	1,170,000	補委	文部科学省
口蓋形成術後の瘢痕形成抑制を目指した次世代RNA医薬品の開発	内田 玲子	矯正歯科	1,040,000	補委	文部科学省
新規歯科用局所麻酔薬の開発と無針注射器(シリジェット)への応用について	中川 弘	小児歯科	650,000	補委	文部科学省
乳歯歯根由来細胞株の樹立および歯根膜細胞による新しい歯周組織再生法の開発	長谷川 智一	小児歯科	1,300,000	補委	文部科学省
糖尿病関連歯周炎の病態指標としての歯肉溝滲出液中オステオポンチンの意義と有用性	堀部 ますみ	第二保存科	1,040,000	補委	文部科学省
口腔顔面痛と自律神経活動の関係について—心拍間変異分析装置を用いて—	桃田 幸弘	口腔内科	650,000	補委	文部科学省
細胞支持基盤の弾性調節で飽和脂肪酸によるインスリン抵抗性を克服する試み	李 勤凱	糖尿病対策センター	1,820,000	補委	文部科学省
成長軟骨板の分子制御メカニズムの解明	江西 哲也	リハビリテーション部	1,170,000	補委	文部科学省
過敏性腸症候群の診断と最適治療のための非侵襲的大腸小腸運動機能評価システムの開発	岡久 稔也	消化器内科	650,000	補委	文部科学省
ミュータンス連鎖球菌の糖輸送関連遺伝子がバイオフィルム形成に与える影響について	木村 智子	総合歯科診療部	1,235,000	補委	文部科学省
新規アディポカインD-ドーパクロムトートメラーゼの発現および作用機序に関する研究	石本 恭子	矯正歯科	1,417,000	補委	文部科学省

レジチンは歯周炎の新規モジュレーターか	村田 裕美	矯正歯科	1,417,000	補委	文部科学省
RA系非依存的な糖尿病性腎症の発症予測バイオマーカーと分子標的治療法の開発	土井 俊夫	腎臓内科	3,510,000	補委	文部科学省
慢性腎臓病から腎不全に至る不可逆的形質変化の分子機構解明	安部 秀斉	腎臓内科	1,040,000	補委	文部科学省
尿中エクソソーム解析による非侵襲的腎臓病診断法の確立	土井 俊夫	腎臓内科	3,640,000	補委	文部科学省
ストレス蛋白質誘導による心筋保護作用:多角的心保護戦略を目指して	北畑 洋	歯科麻酔科	1,600,000	補委	文部科学省
麻酔薬の末梢神経再生への関与について	富岡 重正	歯科麻酔科	700,000	補委	文部科学省
鉄イオン遊離に関与する還元物質の解明と酸化ストレスに対する局所麻酔薬の影響	高石 和美	歯科麻酔科	1,800,000	補委	文部科学省
マホリックシトローームにおける内因性カト'トと病原体センサーの機能的意義の解明	佐田 政隆	循環器内科	11,000,000	補委	文部科学省
心臓周囲への脂肪組織移植による冠動脈疾患に対する新規治療法の開発	佐田 政隆	循環器内科	3,000,000	補委	文部科学省
動脈硬化プラーク脆弱化の分子機序の解明と急性冠症候群予測因子の同定	佐田 政隆	循環器内科	4,100,000	補委	文部科学省
グレルンの自律神経作用を介した新しい不整脈治療法の開発	添木 武	循環器内科	1,000,000	補委	文部科学省
潜在性肺高血圧症の非侵襲的診断法の確立と臨床的特徴	楠瀬 賢也	循環器内科	2,700,000	補委	文部科学省
認知機能障害とQOLに着目した統合失調症の臨床的および脳科学的研究	大森 哲郎	精神科神経科	700,000	補委	文部科学省
認知機能と機能画像を指標とした強迫性障害の治療戦略に関する研究	住谷 さつき	精神科神経科	1,600,000	補委	文部科学省
末梢白血球遺伝子発現を利用したうつ病診断キットの作成	伊賀 淳一	精神科神経科	500,000	補委	文部科学省
表皮細胞のエピジェネティクス制御異常と免疫回避機構	久保 宜明	皮膚科	1,100,000	補委	文部科学省
皮膚有棘細胞癌における癌幹細胞の同定と解析	村尾 和俊	皮膚科	800,000	補委	文部科学省
縦断的・包括的脊髄損傷の治療効果の評価およびそれに必要な医療資源に関する研究	加藤 真介	リハビリテーション部	4,160,000	補委	厚生労働省
消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進	島田 光生	消化器・移植外科	100,000	補委	厚生労働省
更年期障害に対する加味逍遙散のプラセボ対照二重盲検群間比較試験	苛原 稔	産科婦人科	500,000	補委	厚生労働省

生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証と生殖補助医療技術の標準化に関する研究	苛原 稔	産科婦人科	2,000,000	補委	厚生労働省
がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究	高山 哲治	消化器内科	2,300,000	補委	厚生労働省
健康づくり施策の効率性等に関する基礎及び臨床研究	島袋 充生	循環器内科	1,000,000	補委	厚生労働省
特定健診・保健指導におけるメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出に関する横断・縦断研究	島袋 充生	循環器内科	1,150,000	補委	厚生労働省
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	原田 雅史	放射線科	1,000,000	補委	厚生労働省
統合失調症における社会生活機能障害の評価・支援 -MATRICS-CCB 日本語版による認知機能障害の評価と治療計画への応用-	大森 哲郎	精神科神経科	1,500,000	補委	厚生労働省
高次脳機能障害者の地域生活支援の推進に関する研究	永廣 信治	脳神経外科	1,400,000	補委	厚生労働省
一過性脳虚血発作(TIA)の診断基準の再検討, ならびに我が国の医療環境に則した適切な診断・治療システムの確立に関する研究	永廣 信治	脳神経外科	500,000	補委	厚生労働省
がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科	1,000,000	補委	厚生労働省
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	島田 光生	消化器・移植外科	150,000	補委	厚生労働省
糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	安部 秀斉	腎臓内科	500,000	補委	厚生労働省
日本人糖尿病合併冠動脈疾患患者において積極的脂質低下・降圧療法の妥当性を問うランダム化臨床試験および観察研究	佐田 政隆	循環器内科	4,000,000	補委	厚生労働省
治療抵抗性統合失調症に対する治療戦略のためのデータベース構築に関する研究	大森 哲郎	精神科神経科	500,000	補委	厚生労働省
進行・再発肝細胞癌に対する動注化学療法と分子標的薬併用による新規治療法の確立を目指した臨床試験(Phase III)ならびに効果を予測するbiomarkerの探索研究	高山 哲治	消化器内科	200,000	補委	厚生労働省
進行・再発肺癌に対する新規エピトープペプチドカクテル療法と標準化学療法の併用効果を検討する多施設共同第I/II相臨床試験	島田 光生	消化器・移植外科	1,200,000	補委	厚生労働省
ジストニアの診断及び治療方法の更なる推進に関する研究	梶 龍兒	神経内科	10,000,000	補委	厚生労働省
突発性正常圧水頭症の病因・病態と診断・治療に関する研究	和泉 唯信	神経内科	800,000	補委	厚生労働省
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	竹中 英喬	消化器内科	150,000	補委	厚生労働省
治験の実施に関する研究[タクロリムス水和物]	岸 潤	呼吸器・膠原病内科	1,880,000	補委	厚生労働省
縦断的・包括的脊髄損傷の治療効果の評価およびそれに必要な医療資源に関する研究	加藤 真介	リハビリテーション部	4,160,000	補委	厚生労働省

軟骨無形成症の病態解明と治療法の開発	安井 夏生	整形外科	10,000,000	補委	国立保健医療科学院
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	松本 俊夫	内分泌・代謝内科	2,000,000	補委	国立保健医療科学院
前庭機能異常に関する調査研究	武田 憲昭	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委	国立保健医療科学院
神経変性疾患に関する調査研究	梶 龍児	神経内科	1,300,000	補委	国立保健医療科学院
免疫性神経疾患に関する調査研究	梶 龍児	神経内科	1,200,000	補委	国立保健医療科学院
新規診断マーカーCTPを用いた難治性内耳疾患の多施設検討	武田 憲昭	耳鼻咽喉科	600,000	補委	国立保健医療科学院
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	梶 龍児	神経内科	700,000	補委	国立保健医療科学院
封入体筋炎(IBM)の臨床病理学的調査および診断基準の精度向上に関する研究	梶 龍児	神経内科	1,000,000	補委	国立保健医療科学院
低フォスファターゼ症の個別最適治療に向けた基礎的・臨床的検討	安井 夏生	整形外科	1,000,000	補委	国立保健医療科学院
突発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	松本 俊夫	内分泌・代謝内科	1,500,000	補委	国立保健医療科学院
びまん性肺疾患に関する調査研究	西岡 安彦	呼吸器・膠原病内科	1,000,000	補委	国立保健医療科学院
原発性リンパ浮腫全国調査を基礎とした治療指針の作成研究	中西 秀樹	形成外科	500,000	補委	国立保健医療科学院
原発性リンパ浮腫全国調査を基礎とした治療指針の作成研究	橋本 一郎	形成外科	500,000	補委	国立保健医療科学院
治験の実施に関する研究[L-アルギニン]	松井 尚子	神経内科	1,000,000	補委	(社)日本医師会治験促進センター
腱移行術後における骨格筋適応不全の病態解明	高橋 光彦	整形外科	780,000	補委	日本学術振興会
金属アレルギーの発症機序の解析と補綴治療学的戦略	市川 哲雄	第一補綴科	2,200,000	補委	日本学術振興会
無歯顎のデジタル印象・咬合探得システムの開発	市川 哲雄	第一補綴科	2,300,000	補委	日本学術振興会
金属アレルギー発症機構における樹状細胞の動態解析	渡邊 恵	第一補綴科	800,000	補委	日本学術振興会
チェアサイドでできる新しい嚥下検査法の確立	本釜 聖子	第一補綴科	700,000	補委	日本学術振興会
オリゴ糖の亜鉛吸収促進作用を利用した味覚障害の治療法の開発	武田 憲昭	耳鼻咽喉科	700,000	補委	日本学術振興会

人工多能性幹(iPS)細胞の間葉系幹細胞を経由した骨芽細胞への分化誘導法の確立	宮本 洋二	口腔外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
高骨伝導性チタンインプラントの創製	宮本 洋二	口腔外科	1,156,000	補委	日本学術振興会
歯の発生過程における上皮-間葉相互作用の分子メカニズムを応用した歯再生医療の開発	永井 宏和	口腔外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
SDF-1/CXCR4システムを介した口腔癌の転移機構におけるmiRNAの役割	内田 大亮	口腔外科	2,080,000	補委	日本学術振興会
難治性口内炎に対するメラトニンを用いた戦略的治療法の開発	工藤 景子	口腔外科	1,040,000	補委	日本学術振興会
咬合の客観的評価法の開発	山本 修史	口腔外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
新規徐放性ナノゲルを用いた線維芽細胞増殖因子による骨再生法の開発と分子機構の解明	小林 真左子	口腔外科	700,000	補委	日本学術振興会
シェーグレン症候群に対する病期対応型テラメド医療の構築	東 雅之	口腔内科	10,530,000	補委	日本学術振興会
サイトカイン療法と唾液腺機能再生療法によるシェーグレン症候群の新規治療法の開発	茂木 勝美	口腔内科	2,210,000	補委	日本学術振興会
微量元素分析による金属アレルギー診断法の開発	細木 真紀	第二補綴科	650,000	補委	日本学術振興会
睡眠中の下顎の動態	重本 修伺	第二補綴科	1,170,000	補委	日本学術振興会
スプリントの治療効果と睡眠時下顎安静位の関係	大倉 一夫	第二補綴科	840,000	補委	日本学術振興会
微量元素分析による金属アレルギー診断法の開発	細木 真紀	第二補綴科	650,000	補委	日本学術振興会
睡眠中の下顎の動態	重本 修伺	第二補綴科	1,170,000	補委	日本学術振興会
スプリントの治療効果と睡眠時下顎安静位の関係	大倉 一夫	第二補綴科	840,000	補委	日本学術振興会
ビタミンDによる骨血管連関の治療効果の検討	安部 秀斉	腎臓内科	500,000	補委	(財)日本腎臓財団 腎不全病態研究助成金
糖尿病における心腎連関の分子病態を反映するバイオマーカーの樹立	安部 秀斉	腎臓内科	1,000,000	補委	(財)日本糖尿病財団 研究助成金
腎障害および腎臓再生のメカニズムの研究	岸 誠司	検査部	1,500,000	補委	(財)住友生命社会福祉事業団 海外医学研究助成金
変形性顎関節症治療への新しい技術開発 ー低出力超音波を用いた関節軟骨修復法ー	田中 栄二	矯正歯科	1,700,000	補委	JST
ドミカム注射液10mg 歯科・口腔外科領域における臨床使用実態調査	北畑 洋	歯科麻酔科	157,500	補委	受託研究費(治療・製造販売後臨床試験・製造販売後調査)

糖尿病大血管合併症の超音波画像診断技術の確立および治療法開発への応用研究	佐田 政隆	循環器内科	13,636,364	補委	とくしま産業振興機構
統合失調症のシナプスグリア系病態の評価・修復法創出	大森 哲郎	精神科神経科	10,400,000	補委	戦略的創造研究推進事業CRESTタイプ
医療・介護サービス向上のための基盤強化	大森 哲郎	精神科神経科	8,750,000	補委	社会福祉法人健祥会
睡眠時ブラキシズムの可視化診断システムの開発	重本 修伺	第二補綴科	1,304,616	補委	科学技術振興機構
				補委	

計 142

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PLoS ONE	A Novel DC Therapy with Manipulation of MKK6 Gene on Nickel Allergy in Mice	渡邊 恵	第一補綴科
Journal of Prosthodontic Research	Survival of immediate implant restoration: A retrospective study through 9-year-observation	水頭 英樹	第一補綴科
Journal of Prosthodontic Research	MI sensor-aided screening system for assessing swallowing dysfunction: Application to the repetitive saliva-swallowing test	本釜 聖子	第一補綴科
Otology Japan 21:808-815,2011	感音難聴と顔面神経麻痺を示すMPO-ANCA関連中耳疾患の1例 診断基準案の提案	武田 憲昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
The Journal of Biological Chemistry	Sox9 induces a chondrogenic phenotype of mesangial cells and contributes to advanced diabetic nephropathy.	岸 誠司	検査部
Pediatr Blood Cancer	Refractory pediatric nonrhabdomyosarcoma soft tissue sarcoma associated with ectopic production of beta hCG and hypercalcemia induced by PTHrP.	Inoue N	小児科
J Am Soc Echocardiogr	A novel bilayer approach to ventricular septal deformation analysis by speckle tracking imaging in children with right ventricular overload.	Hayabuchi Y	小児科
Cardiol Res	Consideration of the pathological features of pediatric congenital heart diseases which are ideally suitable for diagnosing with multidetector-row CT.	Hayabuchi Y	小児科
Heart Vessels	Cell membrane stretch activates intermediate-conductance Ca <sup>2+</sup> -activated K <sup>+</sup> channels in arterial smooth muscle cells.	Hayabuchi Y	小児科
Int J Cardiol	Minimum-intensity projection of multidetector-row computed tomography for assessment of pulmonary hypertension in children with congenital heart disease.	Hayabuchi Y	小児科
Circ J	Serum concentration of heart-type fatty acid-binding protein in children and adolescents with congenital heart disease.	Hayabuchi Y	小児科
Int J Cardiol	Multidetector-row computed tomography visualized peripheral pulmonary artery patency in a patient with occluded modified Blalock-Taussig shunt.	Hayabuchi Y	小児科
Neuropediatrics	Neuroradiological and neurofunctional examinations for patients with 22q11.2 deletion.	Mori T	小児科

Brain Dev	Transient left temporal lobe lesion in Menkes disease may influence the generation of tonic spasms.	Ito H	小児科
Int J Nephrol	Urinary Angiotensinogen as a Biomarker of Nephropathy in Childhood.	Urushihara M	小児科
Transl Res	Angiotensin II type 1 receptor blockade suppress glomerular renin-angiotensin system activation, oxidative stress, and progressive glomerular injury in rat anti-GBM glomerulonephritis.	Kinoshita Y	小児科
Int J Clin Med	Angiotensinogen expression is enhanced in the progression of glomerular disease.	Urushihara M	小児科
Clin Exp Nephrol	Japan Renal Biopsy Registry: the first nationwide, web-based, and prospective registry system of renal biopsies in Japan	Sugiyama H, Kagami S	小児科
Hypertension	Addition of Angiotensin II Type 1 Receptor Blocker to CCR2 Antagonist Markedly Attenuates Crescentic Glomerulonephritis.	Urushihara M	小児科
Annals of Biomedical Engineering 39(12): 2964-2971, 2011	Low-intensity pulsed ultrasound reduces the inflammatory activity of synovitis.	Nakamura T, et al.	矯正歯科
Development, Growth and Differentiation 53(1): 48-54, 2011.	Atelocollagen-mediated systemic applications of myostatin-targeting siRNA improve the muscular atrophy of caveolin-3-deficient mice.	Kawakami E, et al.	矯正歯科
癌と化学療法	口腔扁平上皮癌に対するS-1を併用した Docetaxel超選択的動注化学療法の臨床効果に関する研究	永井 宏和 他	口腔外科
四国歯学会誌	シェーグレン症候群に対する病期対応型テーラーメイド医療の構築	東 雅之	口腔内科
四国歯学会誌	舌痛を訴える患者について考える 一舌痛症を中心に	桃田 幸弘	口腔内科
Neuro Endocrinology Letters	Nerve growth factor increases electrical activity of neural cells derived from murine bone marrow stromal cells.	富岡 重正	歯科麻酔科
四国歯学会雑誌	心肺蘇生法ガイドライン～2010年の変更点を中心に～	高石 和美	歯科麻酔科
NeuroReport	Water transport by glucose transporter type 3 expressed in Xenopus oocytes.	富岡 重正	歯科麻酔科
Circulation Journal	Validation of longitudinal peak systolic strain by speckle tracking echocardiography with visual assessment and myocardial perfusion SPECT in patients with regional asynergy.	楠瀬 賢也	循環器内科
Hypertension Research	Plasma heparin cofactor-II activity is inversely associated with left atrial volume and diastolic dysfunction in humans with cardiovascular risk factors.	伊勢 孝之	循環器内科
International Journal of Cardiology	Serial imaging changes during treatment of Takayasu arteritis with pulmonary artery stenosis.	楠瀬 賢也	循環器内科
Heart Asia	Removal of pinched-off central venous catheter.	楠瀬 賢也	循環器内科
Inflammation and Regeneration	Chronic inflammation and atherosclerosis: A critical role for renin angiotensin system that is activated by life-style related diseases.	佐田 政隆	循環器内科
Internal Medicine	Ventricular tachycardia in cardiac sarcoidosis controlled by radiofrequency catheter ablation.	坂東 美佳	循環器内科
Journal of Cardiology Cases	Observation of short-term atorvastatin-induced changes in coronary arterial plaque properties using integrated backscatter intravascular ultrasound in a patient.	山口 浩司	循環器内科

International Journal of Cardiology	Comparison of chronic-stage histopathological findings among 3 coronary stents implanted in the same patient.	仁木 敏之	循環器内科
Journal of Cardiology Cases	A patient who developed toe necrosis due to poor blood circulation after an interdigital tick bite.	山崎 宙	循環器内科
Journal of Cardiology	Elevated concentrations of pentraxin 3 are associated with coronary plaque vulnerability.	添木 武	循環器内科
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition	High phosphate diet reduces atherosclerosis formation in apolipoprotein E-deficient mice.	塩田 あすか	循環器内科
Hum Psychopharmacol	Lithium decreases VEGF mRNA expression in leukocytes of healthy subjects and patients with bipolar disorder.	Kikuchi K	精神科神経科
日本顎口腔機能学会雑誌	睡眠中の咀嚼筋安静(低緊張)状態における垂直的顎位-スプリントの最適な咬合学上量の検討-	鈴木 善貴	第二補綴科
日本顎関節学会雑誌	徳島大学病院における顎関節症患者の特徴に関する調査-男女比、年齢構成と受診期間-	竹内 久裕	第二補綴科
日本補綴歯科学会誌	重度歯周病を伴う顎関節症患者に対する補綴治療の1症例	薩摩 登誉子	第二補綴科
アレルギーの臨床	歯科用金属アレルギーとピアスの関係について	細木 真紀	第二補綴科
SLEEP MEDICINE	Gender specificity of the slow wave sleep lost in chronic widespread musculoskeletal pain	Kazuo Okura	第二補綴科
Ann Surg Oncol 2012; 19: 486-93	Sentinel lymph node biopsy using intraoperative indocyanine green fluorescence imaging navigated with preoperative CT lymphography for superficial esophageal cancer.	Yuasa Y, Tangoku A	食道・乳腺甲状腺外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 18: 190-199, 2012	The new era of staging as a key for an appropriate treatment for esophageal cancer.	Tangoku A, Yamamoto Y	食道・乳腺甲状腺外科
Ann Surg Oncol 2012; 19: 757-65.	Prognosis of esophageal squamous cell carcinoma in patients positive for human epidermal growth factor receptor family can be improved by initial chemotherapy with docetaxel, fluorouracil, and cisplatin.	Yamamoto Y, Tangoku A	食道・乳腺甲状腺外科
Ann Surg Oncol. 2012 Jul 31.	Aldehyde Dehydrogenase 1 Expression is Associated with Poor Prognosis in Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Minato T, Tangoku A	食道・乳腺甲状腺外科
J. Dermatol.	Coexistence of giant blue nevus of the scalp with hair loss and alopecia areata.	S. Takeichi	皮膚科
Eur. J. Dermatol.	Verrucous extramammary Paget's disease accompanying human papillomavirus 40-associated condyloma acuminatum: importance of multiple skin biopsies.	K. Murao	皮膚科
Arch. Dermatol.	Ichthyosis hystrix, Curth-Macklin type: A new sporadic case with a novel mutation of keratin 1.	Y. Kubo	皮膚科
Eur. J. Dermatol.	Relapsing polychondritis associated with psoriasis vulgaris and alopecia areata.	K. Murao	皮膚科
Clin. Exp. Dermatol.	Generalized hypopigmented macules after bone-marrow transplantation.	M. Fukumoto	皮膚科
Eur. J. Dermatol.	Squamous cell carcinoma of the scalp associated with human papillomavirus type 16	K. Murao	皮膚科
TISSUE ENGINEERING PART A	Stromal cell-derived factor-1 potentiates bone morphogenetic protein-2 induced bone formation	東野 恒作	整形外科



J Orthop Trauma	Nonunion of capital femoral physeal fracture with a large metaphyseal fragment	油形 公則	整形外科
Asian Spine J	MRI Changes of the Spinal Subdural Space after Lumbar Spine Surgeries: Report of Two Cases	酒井 紀典	整形外科
ORTHOPEDECS	Locally Administered Zoledronic Acid Therapy for Giant Cell Tumor of Bone	西庄 俊彦	整形外科
MOLECULAR CANCER RESEARCH	The $\alpha 3$ Isoform Vacuolar Type H <sup>+</sup> -ATPase Promotes Distant Metastasis in the Mouse B16 Melanoma Cells	西庄 俊彦	整形外科
JOURNAL OF PEDIATRIC ORTHOPAEDICS-PART B	Trigger thumb of the dominant hand in identical twins	殿谷 一朗	整形外科
Arch Oral Biol. 56: 761-767, 2011.	Regulation of antimicrobial peptide expression in human gingival keratinocytes by interleukin-1 $\alpha$ .	Nagata T	第二保存科
J Periodont Res 46:655-662, 2011.	Topical and intermittent application of parathyroid hormone recovers alveolar bone loss in rat experimental periodontitis.	Nagata T	第二保存科
Electr Eng Jpn 179: 40-45, 2012.	Diagnosis of periodontal diseases by biomarkers.	Kido J	第二保存科
J Periodont Res 47: 488-499, 2012.	Analysis of proteins in human gingival crevicular fluid by mass spectrometry	Nagata T.	第二保存科
J Med Invest.	Effect of histone deacetylase inhibitor in combination with 5-fluorouracil on pancreas cancer and cholangiocarcinoma cell lines.	岩橋 衆一	消化器・移植外科
Hepatol Res.	Molecular characteristics of non-cancerous liver tissue in non-B non-C hepatocellular carcinoma.	宇都宮 徹	消化器・移植外科
Surg Today.	De Novo Lung Cancer Diagnosed 32 Months After Liver Transplantation : Report of a Case.	金本 真美	消化器・移植外科
Oncol Rep.	Histone deacetylase inhibitor enhances the anti-tumor effect of gemcitabine: A special reference to gene-expression microarray analysis.	岩橋 衆一	消化器・移植外科
Dig Dis Sci.	Beneficial effects of follistatin in hepatic ischemia-reperfusion injuries in rats.	金本 真美	消化器・移植外科
Hepatogastroenterology.	Hypoxia inducible factor expression in intrahepatic cholangiocarcinoma	森根 裕二	消化器・移植外科
Int J Clin Oncol.	Histone deacetylase inhibitor augments anti-tumor effect of gemcitabine and pegylated interferon- $\alpha$ on pancreatic cancer cells.	岩橋 衆一	消化器・移植外科
Surg Today.	Human adipose-derived stem cells: potential clinical applications in surgery.	宇都宮 徹	消化器・移植外科
Cancer Genomics&Proteomics.	Gene expression profile can predict pathological response to preoperative chemoradiotherapy in rectal cancer.	西岡 将規	消化器・移植外科
J Med Invest.	Intraperitoneal infusion of paclitaxel with S-1 for peritoneal metastasis of advanced gastric cancer: phase I study.	栗田 信浩	消化器・移植外科
Hepatogastroenterology.	Evaluation of procedure of laparoscopic para-aortic lymph node biopsy: comparison between transperitoneal approach and extraperitoneal approach.	岩田 貴	消化器・移植外科
Int J Clin Oncol.	The Kampo medicine, Goshajinkigan, prevents neuropathy in patients treated by FOLFOX regimen.	西岡 将規	消化器・移植外科
Hepatogastroenterology.	Malignant potential of barrett's esophagus: special reference to HDAC-1 and MTA-1 expression.	宮谷 知彦	消化器・移植外科
Oncol Rep.	Expression of histone deacetylase 1 and metastasis associated protein 1 as prognostic factors in colon cancer.	東島 潤	消化器・移植外科

Hepatogastroenterology.	Gastric emptying in Billroth-I and Roux-en-Y reconstruction after distal gastrectomy using <sup>13</sup> C-acetate breath test.	栗田 信浩	消化器・移植外科
Surg Endosc.	Visceral fat area is superior to body mass index as a predictive factor for risk with laparoscopy-assisted gastrectomy for gastric cancer.	吉川 幸造	消化器・移植外科
Fukuoka Igaku Zasshi.	Establishment of regional alliance clinical pathways for gastrointestinal cancer in Tokushima	森本 慎也	消化器・移植外科
胆道.	先天性胆道拡張症、膵・胆管合流異常症:疫学と臨床的特徴.	森根 裕二	消化器・移植外科
四国医学雑誌.	肉眼的門脈侵襲陽性肝癌切除後のSystemic IFN+Low dose FPの有用性—理論的根拠と臨床的效果—.	居村 暁	消化器・移植外科
膵/胆管合流異常の新たな展開.	V治療 2.全国集計からみた外科治療.	島田 光生	消化器・移植外科
消化器疾患最新の治療 2011-2012.	IV章 肝・胆・膵疾患 C.膵癌	森根 裕二	消化器・移植外科
膵/胆管合流異常の新たな展開.	IV胆道発癌 1.全国集計からみた発癌頻度と特徴.	森根 裕二	消化器・移植外科
消化器外科.	内視鏡外科手術をめぐる最近のトピックス 3. 新たな領域への手術適応(3)保険収載後の腹腔鏡下肝切除術の展開	宇都宮 徹	消化器・移植外科
手術.	【肝胆膵癌手術上達法】肝胆 皮切 肝授動.	花岡 潤	消化器・移植外科
外科.	【肝胆膵領域における最新の画像診断】最新の膵・胆道癌リンパ節転移診断.	池本 哲也	消化器・移植外科
四国医学雑誌.	消化器癌におけるHIF-1の臨床的意義と治療への応用	宇都宮 徹	消化器・移植外科
肝胆膵	特集/Changed!?臓器移植法改正施行後1年の現況 テーマ.Ⅲ. さらに新しいチャレンジ 1. 新しい肝細胞癌適応基準(Up to Seven)はミラノに変わるか	森 大樹	消化器・移植外科
癌の臨床.	切除不能大腸癌肝転移に対する強力な新規抗癌剤・分子標的剤の試み:根治切除を目指して	宇都宮 徹	消化器・移植外科
肝胆膵.	非切除胆道癌に対するGFP療法	森根 裕二	消化器・移植外科
胆と膵.	【膵癌診断と研究の最先端】癌細胞のEpigenetic修飾と膵癌治療への可能性.	森根 裕二	消化器・移植外科
消化器外科Nursing.	【治療とケアの流れがあわせてわかる!術式別ケアの注意ポイント48】肝切除術.	花岡 潤	消化器・移植外科
手術.	【ステージに応じた胆嚢癌手術】肝切除および胆道再建を伴う術式 拡大肝葉切除.	池本 哲也	消化器・移植外科
がん治療レクチャー.	【新しい手術モダリティ】臓器別外科的治療最前線 肝がん(肝移植も含む)	居村 暁	消化器・移植外科
消化器内科.	特集I 胃癌化学療法 根治切除不能進行胃癌に対するTS-1+Paclitaxel腹腔内投与.	岩田 貴	消化器・移植外科
臨床外科.	医療費の削減と副作用の軽減を目指したmodified OPTIMOX療法.	西岡 将規	消化器・移植外科
癌の臨床.	【胃癌術後QOL向上に役立つ手技・再建法とその機能的評価】 <sup>13</sup> Cを用いた空腸吸収能検査・Radioisotope(RI)法による排出能検査からみた胃全摘術後空腸嚢付加Roux-en-Y再建の意義.	東島 潤	消化器・移植外科
臨床と研究.	【特集/外来診療に有用な腫瘍マーカーの知識】腫瘍マーカーの種類と特徴 PIVKA-II.	宮谷 知彦	消化器・移植外科
癌の臨床.	【大腸がん鏡視下手術の標準化】大腸がんに対する鏡視下手術の標準化と普及における問題点と対策 地方からの提言.	宮谷 知彦	消化器・移植外科
外科.	「外科医が知っておくべき徴候と症候群」; 胆道 Courvoisier徴候と閉塞性黄疸.	佐藤 宏彦	消化器・移植外科

四国医学雑誌.	大腸原発悪性リンパ腫の3例.	東島 潤	消化器・移植外科
四国医学雑誌.	非代償性肝硬変と心不全を伴う成人交通性陰嚢水腫に対して吊り上げ式LPEC法を施行した1例.	佐藤 宏彦	消化器・移植外科
日本外科系連合学会雑誌.	腹腔鏡下に切除した直腸子宮内膜症の1例.	高須 千絵	消化器・移植外科
日本臨床外科学会雑誌.	腹膜播種との鑑別が困難であった炎症性腫瘍の1例.	高須 千絵	消化器・移植外科
小児外科.	クリニカルパスで示す私たちの標準治療 鼠径ヘルニア(腹腔鏡手術)	石橋 広樹	消化器・移植外科
四国医学雑誌.	小児の胆管拡張型膵・胆管合流異常切除例に発癌関連遺伝子HDACが高発現していた1例.	森 大樹	消化器・移植外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Successful early resection of cardiac papillary fibroelastomas.	Kurobe H	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg.	Functional restoration of endothelial cells of the cryopreserved heart valve.	Fujimoto E	心臓血管外科
J Atheroscler Thromb	Ezetimibe monotherapy ameliorates vascular function in patients with hypercholesterolemia through decreasing oxidative stress.	Kurobe H	心臓血管外科
Annals of Vascular Diseases	Autologous Peripheral Blood-Derived Mononuclear Cells Induced by Erythropoietin Improve Critical Ischemic Limbs	Kanbara T	心臓血管外科
Am J Infect Control	A prospective clinical trial on prevention of catheter contamination using the hub protection cap for needleless injection device.	Oto J	救急集中治療部
Respir Care	A bench study of the effects of leak on ventilator performance during noninvasive ventilation.	Nishimura M	救急集中治療部
Anaesth Intensive Care	Effect of daily sedative interruption on sleep stages of mechanically ventilated patients receiving midazolam by infusion.	Oto J	救急集中治療部
BMJ	Management of severe sepsis in patients admitted to Asian intensive care units: prospective cohort study.	Nishimura M	救急集中治療部
(Editorial) Respir Care	Is volume inferior to pressure?	Nishimura M	救急集中治療部
Journal of computer assisted tomography	Magnetic resonance manifestations of hyperreactio luteinalis	Takeuchi M	放射線科
Radiographics	Adenomyosis: usual and unusual imaging manifestations, pitfalls, and problem-solving MR imaging techniques	Mayumi Takeuchi	放射線科
European Radiology	Preliminary observations and clinical value of N-acetyl resonances in ovarian tumours using in-vivo proton MR spectroscopy at 3T	Harada M	放射線科
Magnetic Resonance in Medical Sciences	Primary Carcinoid Tumor of the Ovary:MR Imaging Characteristics With Pathologic Correlation	Mayumi Takeuchi	放射線科
European Radiology	Differentiation of benign and malignant uterine corpus tumors by using proton MR spectroscopy at 3T: preliminary study	Harada M	放射線科
J Neurol	Temporal evolution of sporadic Creutzfeldt-Jakob disease monitored by 3-Tesla MR spectroscopy	Masafumi Harada	放射線科
Neuropediatrics	Neuroradiological and neurofunctional examinations for patients with 22q11.2 deletion.	Harada M	放射線科

J Autism-Dev Disord.	Non-invasive evaluation of the GABAergic/glutamatergic system in autistic patients observed by MEGA-editing proton MR spectroscopy using a clinical 3 tesla instrument.	Harada M	放射線科
Human Brain Mapping	Measurement of variation in the human cerebral GABA level by in vivo MEGA-editing proton MR spectroscopy using a clinical 3 T instrument and its dependence on brain region and the female menstrual cycle.	Harada M	放射線科
Brain&Development	Transient left temporal lobe lesion in Menkes disease may influence the generation of tonic spasms	Masafumi Harada	放射線科

計 128

(注)

- 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 安井 夏生			
管理担当者氏名	・総務課長 熊谷 圭司	・医療支援課長 佐々木 幹人		
	・手術部長 北川 哲也	・薬剤部長 水口 和生		
	・看護部長 木田 菊恵	・放射線部長 原田 雅史		
	・医事企画課長 高橋 貞夫	・診療支援部長 高松 典通		

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		各診療科（部）で保管	各診療科（部）で保管している。（なお、カルテについては、一部電子カルテシステム、診療録管理室にて管理しているものもある。）
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	文書ファイルで保管している。
	高度の医療の提供の実績	医事企画課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事企画課	
	高度の医療の研修の実績	総務課，医事企画課	
	閲覧実績	総務課，医事企画課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事企画課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事企画課，薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の第一項各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課	文書ファイルで保管している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療支援課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療支援課	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課		

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療支援課	文書ファイルで保管している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療支援課、薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課、薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療支援課、薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課、薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME管理センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理センター	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理センター			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 佐伯 隆二
閲覧担当者氏名	総務課長 熊谷 圭司
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	83.7%	算定期間	平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		16,427人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,818人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		312人
	D：初診の患者の数		22,281人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号及び第 9 条の 23 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 用語の定義</li><li>(2) 安全管理に関する基本的考え方</li><li>(3) 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項</li><li>(4) 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針</li><li>(5) 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li><li>(6) 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>(7) 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針</li><li>(8) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>(9) 医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 15 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>リスクマネジメント委員会（月 1 回、臨時 3 回）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 医療上の事故等防止のための安全管理の方策に関すること。</li><li>(2) 医療上の事故等発生時の対応に関すること。</li><li>(3) 医薬品の安全使用に関すること。</li><li>(4) 医療機器の安全使用に関すること。</li><li>(5) その他医療上の事故等に関すること。</li></ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第 1 回安全管理研修会：「医療事故の保険対策と訴訟」</p> <p>第 2 回安全管理研修会：「医療従事者の抗がん剤曝露と予防」</p> <p>「麻薬取締法における麻薬管理～ヒヤリ・ハット報告から～」</p>	



第3回安全管理研修会：「MRI装置の取り扱いについて」

「MRI検査のリスクについて～安全な検査を行うために～」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  1. インシデント発生時報告連絡体制を見直し、平成24年度Staff Manualに掲載し直し、報告体制を整備した。
  2. 緊急検体搬送用のエアシューターに使用する気送子内のクッションの新規購入とエアクッション袋の購入方法について整備し、より安全な検体搬送ができるようにした。
  3. 抗がん剤漏出性皮膚障害対策ガイドラインの改訂を行い、マニュアル冊子だけでなく、電子カルテの掲示版に掲載し閲覧性を挙げた。また、各部署にラミネートして配付し、利便性を図った。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 (有) (2名) ・ 無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 (有) (5名) ・ 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 (有) ・ 無

- ・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 5 ) 名
- ・ 活動の主な内容：
  - (1) 本院において発生した医療上の事故等の原因究明，調査，分析及び対策の検討並びに当該医療上の事故等の再発防止に関すること。
  - (2) 事故等に関する診療録及び看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること。
  - (3) 患者及び家族への説明等事故発生時の対応状況についての確認及び指導に関すること。
  - (4) 医療上の事故等の防止に関する教育及び研修の企画及び実施に関すること。
  - (5) 医療上の事故等の防止に関する情報の収集及び提供に関すること。
  - (6) 医療上の事故防止安全対策マニュアルの改訂に関すること。
  - (7) インシデント報告の管理に関すること。
  - (8) リスクマネジメント委員会で用いられる資料及び議事要録の作成及び保存，その他リスクマネジメント委員会の庶務に関すること。
  - (9) 医療安全に係る連絡調整に関すること。
  - (10) 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること。
  - (11) 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること。
  - (12) その他医療上の事故防止及び医療の安全性の向上に関すること。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

(有) 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>徳島大学病院（以下「本院」という。）の患者に対する使命は、患者の権利を尊重し、安全で質の高い医療（最先端医療を含む）を提供することにある。そのためには医療従事者の不断の努力が必要であるが、病院全体としても組織的に取り組み推進することが不可欠である。</p> <p>特に安全な医療の提供に関して、患者が安心して医療を受けることができる環境を整えるよう本院全体で取り組むこととし、そのために必要な指針を次のとおり定める。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 用語の定義</li><li>(2) 安全管理に関する基本的考え方</li><li>(3) 医療に係る安全管理のための取組に関する基本的事項</li><li>(4) 医療に係る安全管理等のための職員研修に関する基本方針</li><li>(5) 医療上の事故等の報告に関する基本方針</li><li>(6) 医療上の事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>(7) 患者等からの相談及び苦情等への対応に関する基本方針</li><li>(8) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</li><li>(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 13 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>感染対策委員会（毎月 1 回、臨時 1 回）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 院内感染の予防及び対策に関すること。</li><li>(2) 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること。</li><li>(3) 院内感染発生時の措置に関すること。</li><li>(4) 職員の院内感染の教育に関すること。</li><li>(5) 安全管理対策室感染対策部門の運営に関すること。</li><li>(6) その他院内感染に関すること。</li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第 1 回感染対策研修会・・・「針刺し・切創、血液・体液曝露の脅威」</p> <p>第 2 回感染対策研修会学術講演会・・・「災害時における感染症」</p> <p>第 3 回感染対策研修会・・・「医療スタッフが知っておきたい耐性菌とその対策」</p>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

(  有  無 )

1. 毎週1回、ICTラウンドを計画的に実施、改善点を部署にフィードバックし、更にICNラウンドで確認している。
2. 抗MRSA薬、カルバペネム系抗菌薬について、届出制を実施しているが、抗MRSAについてはTDMの実施状況と抗MRSA薬の適正使用について毎月検討している。
3. HIV／エイズ小委員会では、2ヶ月に1回委員会を開催し、院内のHIV症例の事例検討や検査結果の報告をしている。
4. 職業感染対策として、全職員の抗体の有無を把握をしている。針刺し等事故対策としては、事故者からのヒアリングまたは面接を全ての事例で行い、改善策をフィードバックしている。
5. ICUでのBSIサーベイランス、消化器外科・食道乳腺甲状腺外科でのSSIサーベイランスを実施している。
6. 教育体制として、①感染対策研修会、②部署別出張研修、③研修医研修、④看護師研修（新人、2年目、専門）⑤感染管理院内認定コースに分けて計画している。

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容： 処方上の注意点と薬剤業務、薬剤の安全管理、安全管理における薬剤の取扱い方法、インスリン製剤の安全管理、麻薬の取り扱い方法</li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>手順書の作成 (有・無)</li><li>業務の主な内容： 各種薬剤業務、病棟における医薬品管理が適正に行われているかを病棟間相互チェック等の際に調査し、不備な点を指摘し改善している。</li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</li><li>その他の改善のための方策の主な内容： 全病棟に薬剤師を配置し、持参薬を含め、病棟における医薬品の管理体制を整備した。 薬剤管理指導業務により得られた副作用情報を毎週薬局会で薬剤部員に伝えている。</li></ul>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年10回
<p>・ 研修の主な内容： 平成23年10月～平成24年3月では、看護師、研修医、コメディカルを対象に「人工呼吸器、ベッドサイドモニタ、除細動器、パルスオキシメータ・自動血圧計、医療ガス・医用電気設備」について実施した。平成24年4月～平成24年9月では、看護師、研修医、コメディカルを対象に「パルスオキシメータ・自動血圧計、輸液ポンプ・シリンジポンプ、医療ガス・医用電気設備、ベッドサイドモニタ、除細動器（AED含む）」について実施した。 内容は、研修会場に医療機器を持ち込み、実際の事故事例を挙げながらアラームの理解と対処方法を実技形式で開催した。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 医療機器の定期保守点検（メーカー指定期間による）、プリベンティブメンテナンス、オーバーホールを医療機器販売メーカーへ依頼し、実施した。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器の添付文書、医療機器販売メーカーからの機器情報を収集している。 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構（Pmda）の医薬品医療機器情報配信サービス（PMDAメディナビ）に登録し、「医薬品・医療機器等安全性情報」を収集している。</p>	